

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ
トゥー・ミー

To Me

4

Apr 2017
Vol.263



ときめき人
登米総合産業高写真部

【特集】
はじめの一票

【今月の表紙】
米川の水かぶりから
(詳細は8ページ)



■会議の種類

登米市議会では、2、6、9、12月の年4回、定期議会を開くほか、緊急時など必要に応じて特別議会を開きます。

また、議会だけではなく、より専門的な調査や話し合いをするため、三つの常任委員会と必要に応じて特別委員会を設置しています。

■常任委員会の種類

市には、3つの常任委員会があり、議員は下記のいずれかの委員会に属しています。

【総務企画常任委員会】

市の全体計画や財政、税金、防災、水道事業所などに関係することを担当しています。

【教育民生常任委員会】

市の教育や保健福祉、環境衛生、市民病院などに関係することを担当しています。

【産業建設常任委員会】

市の農業や商工業などの産業および道路整備や下水道などに関係することを担当しています。

■登米市議会の流れ

本会議	①市長が議案を説明 ②議員が議案について質問 ③議案について、賛成するかしないかを決定
-----	---

※2、9月定期議会では、予算および決算の審査をする際、②と③の間で特別委員会を設置して審査。委員会として賛否を決定します

■世界の選挙権年齢

年齢	国名
16歳	アルゼンチン、オーストリア、ブラジルなど
17歳	インドネシア、東ティモールなど
18歳	アメリカ、イギリス、フランスなど
19歳	韓国
20歳	カメルーン、台湾など
21歳	シンガポール、マレーシアなど

※国立国会図書館(レファレンス平成27年12月号)より

政治は投票結果に左右されます。当選するため、より投票率の高い年齢層の意見を反映しがちとの意見があります。若い世代の問題や意見が、政治に反映されにくくと指摘されるのは、このあたりに理由があるかもしれません。

まちづくりへの考え方は、住む地域や世代などで違います。道路などのインフラ整備、子育て支援や雇用の創出など、10人いれば十通りの考え方があります。自分たちが住みよいまちにするためには、自身の意見を届けることが大切。この意見を届ける行動が、選挙で投票をすることなのです。

選挙は政治への第一歩

「選挙」は生活や社会をより良くするため、自分たちの意見を反映させてくれる代表者を選ぶことです。選挙で選ばれた人は、私たちの意見や考えを国、県や市区町村の議会で政治に反映させるために話し合いをします。

本市でも、市民の代表者として市長や議員を選びます。市長は執行者として市政を担い、議会はそれが正しく進められているかなどをチェックします。議会の結果に従い、市政を進めるのが、市長、教育委員会や農業委員会などの執行機関です。議会と執行機関は対等な立場にあり、お互いに話し合いをしながら、市政を推進しています。

真の民主主義実現に向けた改革

選挙権年齢をこれまでの「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げる改正公職選挙法が昨年6月19日、施行されました。現在、全国的に少子高齢化が進み、若い世代の割合が減っています。このようなことから、より多くの若い世代の意見を政治に反映させることを目的に改正されました。世界的にも、選挙権を与えられている年齢が日本よりも低い国が多く、このようなことも一因となっています。

選挙権は、今でこそ一定年齢以上の全ての人々に与えられていますが、このようになるまでは長い年月を要しました。1889(明治22)年、衆議院議員選挙法が公布され、当初は「25歳以上の男子」で、ごく一部の高額納税者に限り選挙権が与えられていました。そこから、何度もの改正を経て、1925(大正14)年に「25歳以上の男子」全員に選挙権が与えられました。女性に参政権が導入されたのもその結果、昨年7月の第24回参議院議員通常選挙では、全国で約240万人、本市で約1500人の18、19歳の有権者が新たに投票できるようになりました。

は1945(昭和20)年。ここで「20歳以上の男女」に選挙権が与えられました。大正期は「経済的な格差」を、昭和期は「性別の格差」を、平成期は「世代の格差」を是正する改革を実施してきました。70年ぶりの法改正は、未来の日本の国づくりに、より幅広い世代が関与する環境を整えたのです。

投票権は、今年こそ一定年齢以上の全ての人々に与えられていますが、このようになるまでは長い年月を要しました。1889(明治22)年、衆議院議員選挙法が公布され、当初は「25歳以上の男子」で、ごく一部の高額納税者に限り選挙権が与えられていました。そこから、何度もの改正を経て、1925(大正14)年に「25歳以上の男子」全員に選挙権が与えられました。女性に参政権が導入されたのもその結果、昨年7月の第24回参議院議員通常選挙では、全国で約240万人、本市で約1500人の18、19歳の有権者が新たに投票できるようになりました。

投票することが住みよいまちづくりへの第一歩



日本では、選挙で選ばれた私たちの代表が政治を反映されにくいという指摘があります。社会が進む方向を決定していくためには、皆さんの思いを票に変え、社会を変えていくためには、投票することが大切です。今号は選挙について考えます。

投票率の低い若い世代の意見は、政治に反映されにくいといふ方向を決定しています。まちづくりへの思いは人それぞれですが、皆さんの思いを票に変え、社会を変えていくためには、投票することが大切です。

若い世代にまちづくりへの関心を深めてもらう取り組み



とめ青年会議所 青少年育成事業「子供議会」

民間団体での代表的な取り組みとして挙げられるのは、(公社)とめ青年会議所(佐藤利尚理事長)が主催する「子供議会」。青少年育成事業の一環として実施しており、昨年6回目の開催を迎える。

「子供議会」は市内の中学生が、市長、教育長や市職員と実際に議会で、まちづくりについて討論を交わすもの。参加した生徒は「登米市がよいまちになるよう、自分たちも頑張らなきゃ」と感想を話します。



市政モニター会議など広聴事業

市は、よりよいまちづくりに向けて、市民の要望や意見を広く聴き入れる「広聴事業」を実施しています。

「市政モニター」は市民の声を取り入れ、協働のまちづくりを目指すため設置しています。任期は

1年で、20人以内で構成。20歳以上であることなどが条件となっています。市長と議会が市民福祉の向上を目指し議論するのにに対し、こちらは市の取り組みについて感じていることなどの意見をもらっています。

コミュニティ再生が一つの鍵

議会では、条例や予算の決定、ま

た。年代別では最高が65～69歳で73.58%、最低が20～24歳で20.39%。年代が下がるほど投票率が低下する傾向がありました。

選挙権は18歳以上になりましたが、国会議員被選挙権は30歳以上、市区町村議員でも25歳以上です。投票する側とされる側に世代ギャップが生まれます。ギャップがあるからと諦めるのではなく、互いの声を聴き合うことが必要です。選挙は、私たちの代表を選ぶ機会であると同時に、世代を超えて意見交換する絶好の機会なのです。

4月23日に登米市長選挙・登米市議会議員一般選挙を執行します。本市が誕生して初めて執行した選挙の投票率は、市長選挙82.49%、市議員選挙82.51%。25年4月21日執行の選挙は、市長選挙69.61%、市議員選挙69.61%と、それぞれ約13ポイント低下しています。

昨年の第24回参議院議員通常選挙(県選挙区)の投票率は50.33%と、県内35市町村中31番目に低い値でした。

選挙は世代を超えた関係づくりの絶好の機会

【参考】



が2015年に実施した第47回衆院選全国意識調査によると、20～30代の棄権理由として多かったのは、「選挙にあまり関心がなかったから(32.2%)」。年代が上がるにつれて少なくなります。60歳以上は解散理由に納得がいかなかつたから(24.8%)」が最も多く、年代が下がるに連れて少なくなっています。若い世代ほど選挙に関心がなかつたといえます。

子育て、親の介護や自分の老後など、今は関係なくとも、いずれやつくることはたくさんあります。「1人だけでは何も変わらない」「投票したい人がいない」と棄権しては、何も変わりません。1人だけでは何も変わ

りません。一般質問は、私たちの生活に住む、私たちの生活に直結する大切な選挙です。平成17年4月29日、本市が誕生して初めて執行した選挙の投票率は、市長選挙82.49%、市議員選挙82.51%。25年4月21日執行の選挙は、市長選挙69.61%、市議員選挙69.61%と、それぞれ約13ポイント低下しています。

しかし、昔は若い世代も数多く意見を届けていました。地域のつながりが密接だったからです。今から40年ほど前までは、行政区単位での夏祭りは当たり前の祭りの集まりには、老若男女問わず多くの地域民が集まります。人が集まれば祭りだけではなく、普段の生活の話にも。そこで、議員は年代を問わず、地域の問題などを聞き、議会で議題としたのです。祭りの話は一例ですが、一昔前は「寄り合い」の中で、異世代間交流がありました。顔の見える関係が築かれていました。顔が見え意見が届けば、必然的に投票率も高くなると考えられます。地域コミュニティ再生が、投票率向上の一つの鍵ではないでしょうか。

若い世代もいつかは老人に

公益財団法人明るい選挙推進協会

4月に登米市長および市議会議員選挙を執行

登米市長および市議選は私たち市民にとって最も身近な選挙私たちが住むまちをより良くするためににはさまざまな人たちの意見が必要です

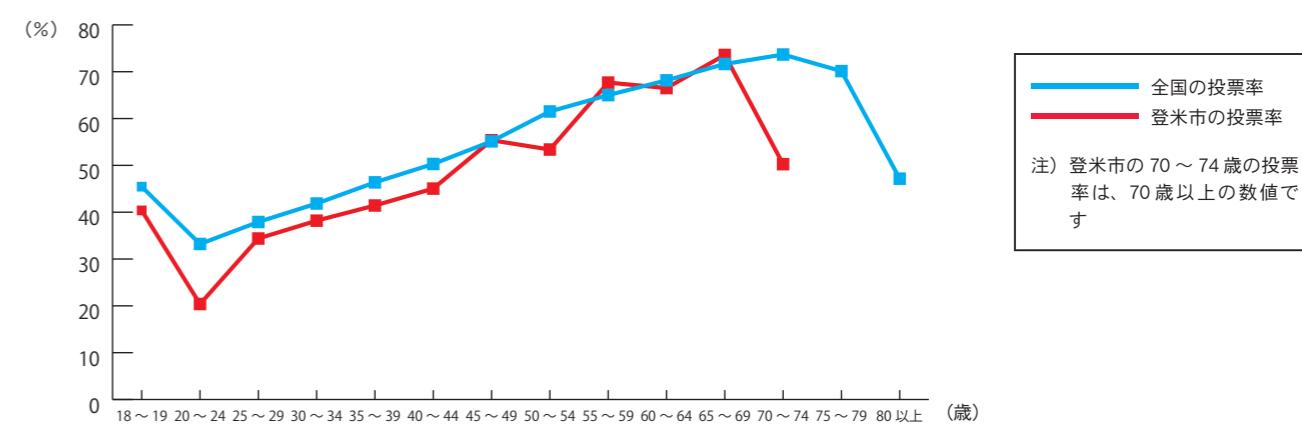


4月23日に登米市長選挙・登米市議会議員一般選挙を執行します。本市に住む、私たちの生活に直結する大切な選挙です。平成17年4月29日、本市が誕生して初めて執行した選挙の投票率は、市長選挙82.49%、市議員選挙82.51%。25年4月21日執行の選挙は、市長選挙69.61%、市議員選挙69.61%と、それぞれ約13ポイント低下しています。

昨年の第24回参議院議員通常選挙(県選挙区)の投票率は50.33%と、県内35市町村中31番目に低い値でした。

選挙は世代を超えた関係づくりの絶好の機会

第24回参議院議員通常選挙の年齢別投票状況



それぞれの思い

まちづくりには多くの意見が必要です
意見は年代や人によって違います
それが思う選挙について話を聞きました



選挙管理委員会事務局
選挙係長 山形 敦さん

私たち市民が、共同体として「登米市」を運営していくとき、一人一人の意見を直接反映する方法は、市民全員が参加した会議を開催することです。しかし、登米市に暮らす18歳以上の市民約7万人が、一堂に会して何かを決めることは現実的には不可能であると思いま

す。では、どのようにして物事を決めていいのでしょうか。考え方の異なる方法は、市民それぞれの考え方を、代弁してくれる人を代表者として選び、代表者の会議によって大事なことを決めて行く方法です。その代表者を選ぶ行為が「選挙」です。現在、代表民主制の根幹となる選挙の投票率が低下しています。

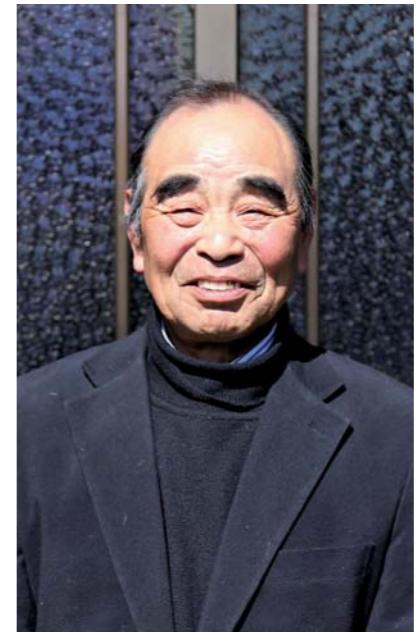
この状況の中、高校生の皆さんの投票率は62・5%であり、勉強や部活動などで時間がない中でも、高い関心を持つ投票してくれたことがうかがえます。次代を担う高校生が、自らの意思で代表者を選び始めました。私たちの世代も、代表者を選ぶための大切な「一票」に、高校生の皆さんと一緒に思いを込めることにしましょう。

若い世代の選挙について市選挙管理委員会事務局に話を聞きました

高校生に続け。思い込めた一票



及川 麻衣さん(32)
米山町・栗ヶ崎



星 勘司さん(73)
迫町・坂戸



後藤 星さん(18)
登米町・遠見台

インターネットを活用した選挙運動の例

選挙運動とは、候補者が当選するため、有権者に働きかけることです。
候補者でなくても18歳以上の人には選挙運動をすることができます。
2013年に公職選挙法が改正され、インターネット選挙運動が解禁されました。

禁止行為



- 有権者が電子メールを使って投票や応援の依頼をする
- 選挙運動用のホームページや候補者から届いた電子メールなどを印刷して颁布する
- 氏名などを偽ってインターネットを利用して通信する
- 選挙運動期間外に選挙運動をする
- 18歳未満の人が、選挙運動をするなど

可能な選挙運動



- 選挙運動メッセージを掲示板やブログなどに書く
- 選挙運動メッセージをSNSなどで広める(リツイート、シェアなど)
- 選挙運動の様子を動画サイトなどに投稿する
- 友人や知人などに直接投票の依頼をする
- 電話で投票や応援の依頼をする

今こそ意識の改革を

ここから声を上げること。
そして、その声を「一票」に
代えて投じていくことが、本
市の明るいまちづくりの第一
歩となり、未来につながつて
いくのではないかでしょう。

重要なのは、選挙制度の改
革ではなく、日常の意識の改
革です。

地域コミュニティーも高齡化が進んでいます。しかし、そこがあなたの声を直接伝えることができる場所であり機会ではないでしょうか。

近代日本の繁栄は、多くの先人たちや若い頃のシルバー世代が一生懸命に築いてきた財産です。現在の若い世代は、特に意識することもなく、その恩恵にあづかってきたとも言えます。

月日がたてば、若い世代もシルバー世代。その時になつて、こんな未来は望んでいたかったと声を上げても手遅れです。今から政治に関心を持ち、私たちの代表である首長や議員など意見を交わしていくことができれば、そのような事にはならないかもしれません。

誰もが働く環境の整備

選挙では、20歳から投票しています。最初は、あまり関心がなかったので、親に言われるがまま投票していました。結婚して子どもが生まれると、医療費や教育など子育て関連の施策に关心を持つようになりました。現在は、子育て関連に注目しながら投票しています。

私は事故で体に障がいがあり、長時間立ったり重い物を持ったりできません。現在、求職活動をしていますが、ハンデがあると選択肢が少なくなる厳しさを実感しています。どのような人でも働きやすい環境を整えてほしいです。

まちづくりは市民協働

教育、防災や道路整備に関心を持ち、投票しています。若い人たちの投票率の低下は、核家族化など家庭環境の変化もあると思います。昔は、家族だんらんで祖父母や両親が選挙の話をしましたが、そういうことがなくなってきたなと感じます。

投票した候補者が当選したからといって、頼ってばかりではよいまちづくりはできないと思います。有権者全ての意見を政治に反映させるのは難しいことです。政治でできないことを私たちがすることで、理想のまちを創れるのではないかでしょうか。

分かりやすく情報発信

選挙権年齢の引き下げは、高校の授業で知りました。年代に偏らない意見が多く出るのはいいことです。投票率を上げるためにには、有権者に自分のことだと感じもらいうることが大切だと思います。そのためには、行政や候補者の考えをもっと分かりやすく伝えていく必要があると思います。

選挙運動のことは知りませんでした。SNSなどでインターネットを使った運動ができるということなので、1票では変わらないと思っている人にとっても、手軽に同じ考えの人を集めるきっかけになるのではないでしょうか。

みんなで遊ぶの楽し 米川で遊び場づくり開く

「ダンボールランドであそぼ！」(子どものあそび場を考える会@米川主催)は2月26日、米川公民館で開かれ、米川地域内外から約80人の親子連れが訪れ、ダンボール遊びを楽しみました。

ダンボールランドであそぼ！は、子どもたちが昔のように外で遊ぶことのきっかけづくりを目的に初めて開催。子どもたちは、それぞれ創意工夫を凝らして、家を作りおまかごと、車を作りレースごっこなどをし、楽しい時間を過ごしました。役員を務め、自身も親子で参加した後藤裕子さん＝米川1区＝は「時間を忘れて楽しんでくれて何より」とうれしそうでした。



親や友達などの手を借り、みんなで協力しての工作も、子どもたちにとっては新鮮な体験でした

47年の歴史を閉じる 登米高で商業科閉科式典

登米高(西塚久良校長、生徒382人)の「商業科閉科式」は2月28日、同校体育館で開かれ、47年間の歴史に幕を閉じました。

閉科式は全校生徒が出席し、西塚校長は「商業科は、商業の知識と技術を習得し、現代社会に適応できる人間を育成していきました。支援いただいた多くの方々に感謝します」とあいさつ。商業科3年を代表して、伊藤昌輝さんが「商業のイロハを教えてくれた先生たちに感謝しています。仲間と過ごした3年間は忘れません。商業科の生徒であったことを誇りに思っています」と感謝の気持ちを込めて別れを告げました。



閉科式に先立ち、同科3年生が閉科発表をしました。スライドを使い、商業科の歴史や3年間取り組んだ課題研究などを紹介

思いをマンガで表現 石ノ森記念館で自主企画展

第18回自主企画展「石ノ森ふるさとマンガ作品展」は2月11日から3月12日まで、石ノ森章太郎ふるさと記念館で開かれました。

市内幼稚園、保育所、小中学校、県内の高校から作品を募った自主企画展は、漫画を通じた青少年の健全育成が目的。三浦優子さん＝石越町第四＝は「孫が作品を出品しているので来ました。ロボコンのテストの点数が0点など、細かいところまでよく観察していますね。それぞれ創意工夫されており、見ていて飽きない。来年もまた見に来ます」と子どもたちの着眼点に感心していました。



石ノ森ヒーロー作品絵画、造形の部、マンガオリジナル作品イラストなど5部門、298点が展示されました

火伏せ願い水かぶり 東和町米川で来訪神行事

国指定重要無形民俗文化財の「米川の水かぶり」は2月12日、東和町米川地内で開かれ、わら蓑束をまとい、神の使いに化身した男衆約30人が、家々に水を掛けけて火伏せをしました。

米川の水かぶりは、800年以上続き、毎年2月の初午の日に催される行事。火の神の印である、かまどのすすを顔に塗った男衆は、肩と腰にしめ縄を着け、わら蓑束姿で秋葉山大権現に祈願し、来訪神になります。男衆が五日町地区を水を掛けながら歩くと、訪れた人々は、火伏せのお守りにしようと先を争ってわらを引き抜いていました。



男衆が掛ける水を、頭からかぶりずぶぬれの子どもたち。男衆に「顔にすすを付けて」とねだる姿が見られました

とっさの判断命救う 佐沼やまやで感謝状贈呈

「救急救護功労感謝状贈呈式」は2月15日、やまや佐沼店で開かれ、市消防本部から同店店長の富士原進也さんに感謝状が贈呈されました。

富士原さんは、昨年11月20日午後4時ごろ、同店内で人が倒れる音を聴き直行。市内在住の60代男性が心肺停止状態となっていたため、社員に119番通報と、近隣ホテルのAEDを取りに行くよう指示しました。救急車が到着するまで、居合わせた2人の女性客と心臓マッサージなど、適切な処置で倒れた男性の命を救いました。富士原さんは「職場で講習を受けたので対応できました。助かってよかったです」と話していました。



鈴木軍雄消防長は「適切な判断と行動で命が救われました。協力いただいた皆さんのお陰です」と感謝していました

大きくなつて戻つて 豊里小生がサケ稚魚放流

豊里小・中学校(田辺昭浩校長、児童生徒数562人)の5年生48人を対象にした「サケ放流体験事業」(北上川漁業協同組合、同組合豊里支部主催)は2月21日、豊里水辺の公園で開かれ、児童たちは約10万匹のサケの稚魚を旧北上川に放流しました。

サケ放流体験事業は、稚魚の放流体験を通して、自然と命の大切を学んでもらうことが目的。児童たちは、バケツに入れた稚魚を無事に戻ってくるよう願いを込めて、雨どいから川へ放ちました。杉山嘉崇君は「命をつなげる大切さが分かりました。サケが無事に戻ってくる姿を見たい」と再会を期待しました。



稚魚に衝撃を与えないよう、静かに放流する児童たち。4、5年後、成長したサケの2~3%が戻ってくるといわれています

**平成29年度市の全体予算
868億8302万円**

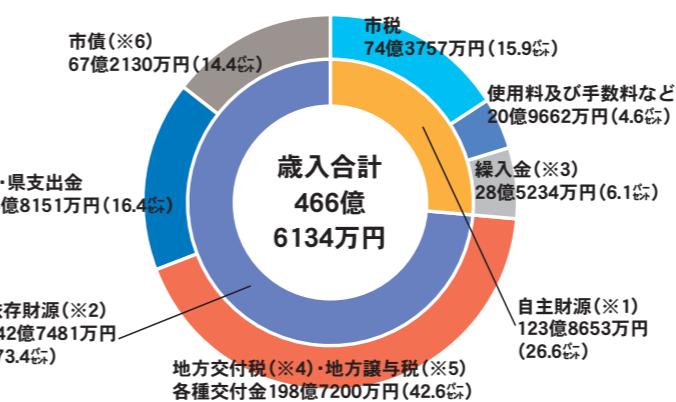
平成29年度予算の概要

本市は、市政の基本的な施策経費である一般会計(※1)のほか、国民健康保険事業など6つの特別会計(※2)と病院事業など3つの企業会計(※3)があります。

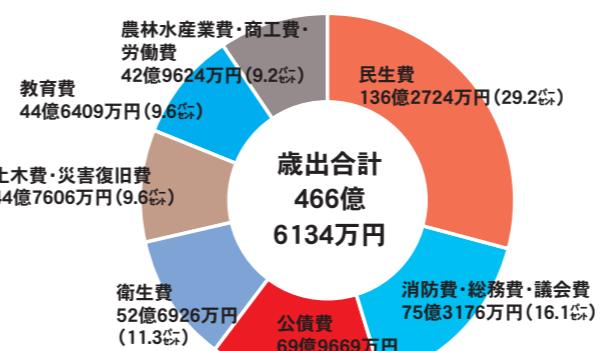
会計ごとの予算額は、左表の通りです。なお、平成29年度は市長市議会議員の改選年度であることから、人

会計名	平成29年度予算額	全体割合
一般会計	466億6134万円	53.7%
特別会計	266億959万円	30.6%
国民健康保険特別会計	111億7963万円	12.9%
後期高齢者医療特別会計	7億7113万円	0.9%
介護保険特別会計	94億4594万円	10.9%
土地取得特別会計	1億2447万円	0.1%
下水道事業特別会計	49億6404万円	5.7%
宅地造成事業特別会計	1億2438万円	0.1%
企業会計	136億1209万円	15.7%
水道事業会計	42億4970万円	4.9%
病院事業会計	88億6446万円	10.2%
老人保健施設事業会計	4億9793万円	0.6%
合計	868億8302万円	100%

■一般会計歳入予算



■一般会計歳出予算



歳出は、子どもやお年寄り、障がい者に対する福祉の充実などに使われる民生費が、約136億円と最も多くなっています。次いで、市民を守る消防・救急などの消防費、市の管理業務である総務費、議会運営関連経費であります。依然として、国や県などの依存度が高い状態にあります。

歳出は、子どもやお年寄り、障がい者に対する福祉の充実などに使われる民生費が、約136億円と最も多くなっています。次いで、市民を守る消防・救急などの消防費、市の管理業務である総務費、議会運営関連経費であります。依然として、国や県などの依存度が高い状態にあります。

【歳入科目の解説】

- ▼自主財源(※1)＝市独自の収入。家計に例えると給料や不動産の売却収入など
- ▼依存財源(※2)＝国や県の意思により定められた額を交付される。国・県支出金は家族からの援助市債は金融機関からの借り入れに当たるもの
- ▼地方交付税(※4)＝市町村が、一定水準のサービスを提供できるよう、国から交付される
- ▼地方譲与税(※5)＝国が市に変わって集めた税金が配分されるもの
- ▼市債(※6)＝事業をする際に借り入れるもの
- ▼企業会計(※3)＝病院事業や水道事業など企業的な事業で、サービスを受ける人の料金で運営することを原則とした会計

- ▼民生費＝子どもからお年寄り、障がい者に対する福祉の充実、子育て支援など
- ▼消防費・総務費・議会費＝市民を守る消防・救急や市の管理業務、議会運営など
- ▼公債費＝大規模な事業に充てた借入金の返済
- ▼衛生費＝健康づくりや環境対策など
- ▼農林水産業費、商工費、労働費＝豊かな農林業の発展や、多彩な商工業の進展、雇用対策など
- ▼教育費＝学校教育や生涯学習などの教育全般
- ▼土木費、災害復旧費＝道路や公園などの整備のほか、災害で傷んだ建物などの改修

【市民1人当たり計算した場合 福祉と安全・安心に注力】

市民1人当たり
57万299円

平成29年度の主要な施策(第二次登米市総合計画・政策の大綱別)

① 生きる力と創造力を養い 自ら学ぶ人が「そだつ」まちづくり

【新規】(仮称)東佐沼こども園施設整備事業／幼保連携型認定こども園等施設整備支援補助金／小学校入学祝金支給事業／学力向上対策事業

【継続】結婚活動支援事業(広域連携結婚支援事業を含む)／児童館整備事業／誕生祝金支給事業／(仮称)佐沼こども園施設整備事業／(仮称)登米こども園施設整備事業／認定こども園等施設整備補助金／保育料等多子軽減拡大事業／幼稚園授業料等多子軽減拡大事業／学校運営協議会(コミュニティ・スクール)推進事業／教育用コンピューター更新事業／教育施設設備品整備事業／総合型地域スポーツクラブ育成事業／平成29年度全国高等学校総合体育大会(南東北インターハイ)ポート競技大会実施事業

② 安全安心な暮らしが支える笑顔で 健康に「いきる」まちづくり

【新規】適塩推進対策事業／ミニデイサービス・シニアサロン事業(介護保険特別会計)

【継続】生活困窮者自立相談支援事業／生活困窮者就労準備支援事業／子ども医療費助成事業／ウォーキング推進事業／健康診査事業／予防接種事業／病院事業(繰出金)／消防ポンプ車整備事業／応急手当普及啓発事業／防火水槽整備事業／消防団車両等整備事業／生活支援体制整備事業(介護保険特別会計)

③ 地域資源を活かし魅力ある 元気な産業を「つくる」まちづくり

【新規】商店街交流創出事業

【拡充】環境保全型農業推進事業／畜産総合振興対策事業／園芸産地拡大事業

【継続】シティプロモーション推進事業／大学等フィールドワーク誘致促進事業／担い手農地集積推進支援事

業／農地中間管理事業／農林業系汚染廃棄物処理実証試験事業／日本型直接支払制度(多面的機能支払事業、中山間地域等直接支払事業、環境保全型直接支払事業)／地域材需要拡大支援事業／森林認証取得支援事業／ビジネスチャンス支援事業／サテライトオフィス等開設支援事業／観光公園等施設改修・修繕事業／(仮称)登米インター工業団地整備事業(宅地造成事業特別会計)

④ 自然と生活環境が調和し 人が快適に「くらす」まちづくり

【新規】道路維持管理事業(段差解消事業等)／都市計画マスタープランほか改定業務／市営住宅建替事業／公営住宅等整備計画策定業務

【拡充】移住・定住促進事業／住まいサポート事業

【継続】空き家改修事業／平筒沼水質向上対策事業／住宅用新・省エネルギー設備導入支援事業／一般廃棄物第二処理施設(新クリーンセンター)整備事業／基幹水道構造物耐震化事業(下り松ボンプ場築造事業)(水道事業会計)／市道舗装修繕事業／道路定期点検事業／道路新設改良事業／橋りょう補修事業(橋梁長寿命化事業)／下水道整備事業(繰出金)／地域集会施設耐震改修等助成事業

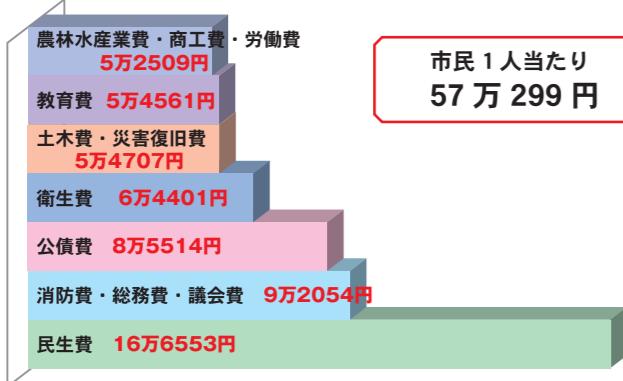
⑤ 市民と行政が「ともに」創る 協働によるまちづくり

【継続】ふるさと応援寄附金事業／固定資産(公有財産)台帳整備事業／未来のまちづくり支援事業

詳細な資料をご覧になりたい場合は、市ホームページ(<http://www.city.tome.miagi.jp>)の「行政情報」→「市の財政」でお知らせしています。なお、ホームページを見ることが出来ない人には、各総合支所窓口で資料を用意していますので、お近くの総合支所にお越しください。

【問い合わせ】企画部財政課(財政一係)☎0220(22)2159

■市民1人当たり計算した場合



平成29年度の一般会計予算額、約467億円を、市民1人当たりでどれくらい使われるか計算したものが、左のグラフです(29年2月末の本市の人口8万1819人で計算しています)。分野別で一番大きなウエートを占めているのは民生費で、1人当たり約16万7千円。次いで消防費、総務費、議会費は約9万2千円、公債費が約8万6千円で続きます。

予算を一人当たりにすることで、本市は、子育てや介護などの福祉や市民の安全・安心に力を入れていることが見えてきます。

- 【運動の重点】**
- ①子どもと高齢者の交通事故防止～事故にあわない、おこさない～
 - ②飲酒運転の根絶
 - ③歩行中・自転車乗用中の交通事故防止（自転車については、特に自転車安全利用五則の周知徹底）



- 【新入学児童に配慮した思いやり運転を】**
- 4月6日(木)から15日(土)の10日間、全国一斉に「春の交通安全運動」が展開されます。市では次の5項目を運動の重点として掲げ各地区での街頭指導など、関係各団体とさまざまな交通安全活動を展開します。

【運動の重点】

- ①子どもと高齢者の交通事故防止～事故にあわない、おこさない～
- ②飲酒運転の根絶
- ③歩行中・自転車乗用中の交通事故防止（自転車については、特に自転車安全利用五則の周知徹底）



4月6日(木)から15日(土)の10日間、全国一斉に「春の交通安全運動」が展開されます。

市では次の5項目を運動の重点として掲げ各地区での街頭指導など、関係各団体とさまざまなお交通安全活動を展開します。

- 【新入学児童に配慮した思いやり運転を】**
- 4月は、新入学児童が交通事故に遭うケースが見受けられます。自転車・車を運転する皆さんには、子どもに配慮した運転ルールに心掛け、家族や地域では将来の登米市を担う子どもたちの見本になるよう交通ルールを守り、交通マナーを実践しましょう。

【指定場所】 迫町佐沼字中江一丁目(五丁目)

【指定期間】 平成28年4月1日～平成30年3月31日まで

【飲酒運転で失う六つの宝】

Information 05 地域包括支援センターが移転します

市民のみなさんがより相談しやすい体制を整えるため、4月から二つの地域包括支援センターの事務室を総合支所内へ移転します。

●登米市迫地 域包括支援セン

【移転後】 迫総合支所内（移

【問い合わせ】 市民生活部市民

生活課（市民総務係）

☎ 0220(58)2118

●登米市中田・石越地域包括支援センター

【移転後】 中田保健福祉会館内

【問い合わせ】 福祉事務所長

寿介護課（介護給付係）

☎ 0220(34)7611

Information
03

春の交通安全市民総ぐみ運動

県飲酒運転根絶 重点区域に指定

- ④後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底**
- ⑤交差点と交差点付近の交通事故防止**
- 交通事故の撲滅は、市民誰もが望む「願い」です。この「願い」をかなえるため「守ろう交通事故ルール 高めよう交通マナー」を市民一人一人が心掛け実践することが重要です。

- 【新入学児童に配慮した思いやり運転を】**
- 4月は、新入学児童が交通事故に遭うケースが見受けられます。自転車・車を運転する皆さんには、子どもに配慮した運転ルールに心掛け、家族や地域では将来の登米市を担う子どもたちの見本になるよう交通ルールを守り、交通マナーを実践しましょう。

【指定場所】 迫町佐沼字中江一丁目(五丁目)

【指定期間】 平成28年4月1日～平成30年3月31日まで

【飲酒運転で失う六つの宝】

市民のみなさんがより相談しやすい体制を整えるため、4月から二つの地域包括支援センターの事務室を総合支所内へ移転します。

●登米市中田・石越地域包括支援センター

【移転後】 中田保健福祉会館内

【問い合わせ】 福祉事務所長

寿介護課（介護給付係）

☎ 0220(34)7611

Information
04

狂犬病予防の集合注射を実施します

犬病予防注射

飼い犬の狂犬病予防注射を市内各町域で実施します。

- 飲酒運転は「犯罪」です。本市は県内他市町村と比べて、飲酒運転による検挙数・事故件数の割合が高い地域です。
- 自動車・自転車などを運転する時は、飲酒運転が引き起こす事故の重大性を十分に認識し、「飲んだら乗らない」「乗るなら飲まない」を実践しましょう。

【指定場所】 迫町佐沼字中江一丁目(五丁目)

【指定期間】 平成28年4月1日～平成30年3月31日まで

【飲酒運転で失う六つの宝】

市民のみなさんがより相談しやすい体制を整えるため、4月から二つの地域包括支援センターの事務室を総合支所内へ移転します。

●登米市中田・石越地域包括支援センター

【移転後】 中田保健福祉会館内

【問い合わせ】 福祉事務所長

寿介護課（介護給付係）

☎ 0220(34)7611

Information
02

「道の駅三滝堂」が4月1日(土)オープン



Information
02

「道の駅三滝堂」が4月1日(土)オープン

4月1日(土)、三陸自動車道・三滝堂インター（エンジニアリング）に隣接して整備を進めていた「道の駅三滝堂」がオープンします。

「道の駅三滝堂」は、本市と南三陸町の境界に近い東和町米谷福平地区に位置し、内陸と沿岸部の接続点となっています。東和地域だけではなく、本市の総合的な観光窓口として、地域の魅力を国内外に発信する役割を担います。

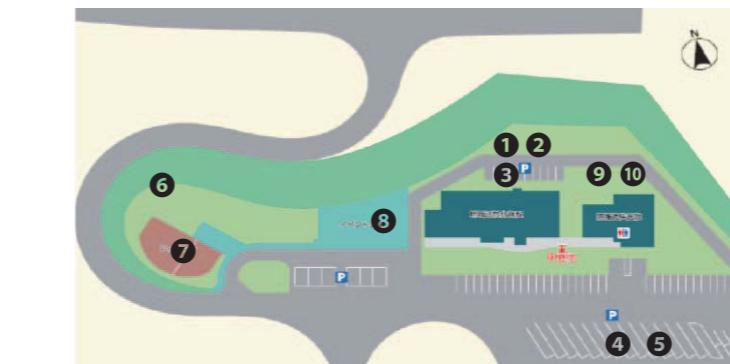
物産販売所では登米市ブランドの米、野菜や加工品を始めとした特産品や各種農産物を販売。レストランでは、これらを使用した本市の郷土料理やご当地グルメを堪能できます。

また、24時間営業のコンビニエンスストアを併設していることから、道路利用者の利便性が向上しています。それだけではなく、キャンピングカーで車中泊ができるRVパークやドッグランなどの施設も設置していることから、アウトドア愛好家や愛犬家など、幅広い利用が見込まれています。皆さんもぜひご利用ください。

【オープニングイベントスケジュール】

- 午前11時30分：一般車両入場開始
 - 午前11時45分：アトラクション（佐沼高校吹奏楽部、西郡太鼓芸能伝承会）
 - 午前11時55分：あいさつ（布施孝尚市長、道の駅駅長）
 - 正午：テープカット、「道の駅三滝堂」オープン
- *道の駅施設内への入場はテープカット後となります。

道の駅三滝堂施設概要図



※当日は、オープニングイベントで各種アトラクションを予定していますので、多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

※当日は混雑が予想されることから「道の駅三滝堂」の駐車場が満車となった時点で、一部交通規制を実施します。現地の誘導員の指示に従ってください。

【問い合わせ】産業経済部商業観光課（観光物産係）
☎ 0220(34)2734

■施設概要
①道の駅／物産販売所
②道の駅／フードコート(45席)
③コンビニエンスストア(ファミリーマート)
④駐車場(81台)
⑤RVパーク(6台)
⑥緑地広場
⑦ドッグラン(大型犬スペース、小型犬スペース)
⑧イベント広場
⑨情報提供施設
⑩24時間利用可能トイレ(男子、女子、多目的)

Information
08

平成29年度登米市農作業標準料金・賃金表

農作業を受委託する場合の参考にしてください					
作業種目など	種別	作業単位	区画	標準料金(税込)	備考
耕起	水田耕起	トラクター	10ha	30ha未満	4,940円
				30ha~50ha未満	4,320円
				50ha以上	3,910円
	畑耕起	トラクター	10ha	30ha未満	3,090円
代かき	トラクター	10ha	30ha未満	5,660円	普通畑
				30ha未満	6,380円
				30ha~50ha未満	5,860円
				50ha以上	5,450円
田植え	催芽料金	1袋	4kg	260円	
	苗	1箱		700円	苗を委託者自己搬入以外は1箱30円増 箱処理料は含まない
	田植機	10ha	30ha未満	5,350円	側条施肥(肥料は含まない)
			30ha~50ha未満	4,830円	1,000円増
			50ha以上	4,420円	
直播	湛水	10ha		5,350円	代かき済みほ場とし、種粉、コーティング処理含まず
	乾田			5,140円	整地済みほ場とし、種粉含まず
稻刈り	コンバイン	10ha	30ha未満	16,970円	隅刈~運搬まで
			30ha~50ha未満	15,840円	ワラ切断
			50ha以上	14,610円	ワラ結束は2,000円増
脱穀	バインダー	10ha		8,020円	刈放し、結束糸持
	ハーベスター	10ha		6,690円	結束なし
粉乾燥調製				8,850円	結束
乾燥	生粉乾燥	60kg	1,030円		
	半乾燥	60kg	650円	水分18%以下のもの	
粉すり	60kg		590円	袋代は別	
散布	色彩選別	30kg		430円	単独作業、粉すりと同時作業は別料金
	肥料散布	プロードキャスター	10ha	750円	肥料代は別
	農薬散布	背負動力散布機	10ha	860円	農薬代は別
堆肥	堆肥散布	マニアスプレッター	10ha	2,570円	堆肥代は含まない。積込運搬含む
			1t	3,240円	有機センター成分と同等品、運搬なし
溝切			30ha	4,830円	溝切は100t当たり500円くらいとし、まくらは排水溝までつなぐ
			1t	40円	片側(土盛、鎮圧)
畦畔土盛	ワラ収集梱包	梱包	反転収集	1,340円	2回を標準とする
			ロールペーラー	2,570円	積み上げ・運搬は含まない
			ハイペーラ	3,090円	
			ラッピング	1,000円	ラップフィルム二重巻、積み上げ・運搬は含まない
耕耘	耕耘	ディスクモア	10ha	3,090円	耕耘草地の草刈り(刈り放し)
畦畔草刈	草刈機	1時間		1,540円	機械持ち(燃料含む)
	自走畦畔草刈機	1時間		3,090円	機械持ち(燃料含む)
賃金	オペレーター	1日		10,000円	トラクター・コンバインなどの運転者のみを依頼する場合の賃金(8時間)
	一般作業員	1日		8,000円	一般農作業、男女とも同額(8時間)

①賃金は、実働8時間を基準とします。

②上記以外の、未整備田(開田等、地形、地質、作業内容など、通常と異なる場合は双方協議の上、決めてください。

③区画の考え方は、ほ場の区画ではなく作業面積による区画です(例:1ha区画内で20ha作業する場合は「30ha未満」の区画料金を適用します)。

※料金表は各総合支所に準備しています。また、市ホームページ(<http://www.city.tome.miyagi.jp/kurashi/nogyo/tinskyaku.html>)にも掲載しています。

【問い合わせ】農業委員会事務局(農地管理係) ☎ 0220(34)2317

Information
06

みんなで楽しく遊んだり、おしゃべりしませんか。

ご利用ください「子育て支援センター」

	迫子育て支援センター	登米子育て支援センター	東和子育て支援センター	中田子育て支援センター
申し込み問い合わせ	☎ 0220(22)2524	☎ 0220(52)2246	☎ 0220(42)2230	☎ 0220(35)2525
事業名	広場	ミッキーの会	わいわい広場	カムく広場 毎週水曜日 9:30~11:30
活動内容	ひよこ(火) 0歳~就学前 うさぎっこ(木) おむね 3歳児 10:00~11:30	月3回程度 火曜日 9:30~11:30	毎週木曜日 10:00~11:30	▶カムく広場 毎週水曜日 9:30~11:30 ▶すぐくの日(0~1歳児) 月2回木曜日 9:30~11:30
共通内容	紙芝居、絵本の読み聞かせ、手遊び、子育て相談・子育て講座・子育て支援情報など			
独自内容	ミニ運動会、親子遠足、季節の行事、おやつ作 季節の行事、手作りおもり、運動遊びなど	誕生会、季節の行事、ふれあい遊び、わらべうた遊び、季節の行事、ミニクッキングなど	ミニクッキングなど	ミニクッキング、手作りおもちゃ、3B体操など
申し込み方法	各施設に備え付けの用紙に必要事項を記入の上、登録する子育て支援センターや児童館に提出してください。 ※対象は、0歳~就学前のお子さんとその保護者(家族)			
自由来館	自由来館は、各支援センターの広場以外の日でも自由に利用できますので、気軽に遊びに来てください。	毎週月~土曜日 8:30~17:00	毎週月~金曜日 8:30~17:00	毎週月~土曜日 8:30~17:00

	豊里子育て支援センター	米山子育て支援センター	石越子育て支援センター	津山子育て支援センター	南方子育てサポートセンター
申し込み問い合わせ	☎ 0225(76)4731	☎ 0220(55)2313	☎ 0228(34)3110	☎ 0225(68)3363	☎ 0220(58)5558
事業名	たんぽぽ広場	くまのこ広場	ふれあい広場	ぽんぽこ広場	遊びの広場
活動内容	毎週火曜日 10:00~11:30	毎週木曜日 9:30~11:30	毎週水曜日 10:00~11:30	月3回程度 水曜日 9:30~11:30	毎月5~6回 10:30~11:00
共通内容	紙芝居、絵本の読み聞かせ、手遊び、子育て相談・子育て講座・子育て支援情報など				
独自内容	リトミック、いきいき 豊里っ子の日、季節の行事など	クッキング、誕生会、ミニクッキング、誕生会、季節の行事など	誕生会、季節の行事など	誕生会、季節の行事など	ピアノうたのう、おはなし ワクワク、リトミック広場、地域交流(ぽっぽの日)など
申し込み方法	各施設に備え付けの用紙に必要事項を記入の上、登録する子育て支援センターや児童館に提出してください。 ※対象は、0歳~就学前のお子さんとその保護者(家族)				登録なしで参加できます。
自由来館	自由来館は、各支援センターの広場以外の日でも自由に利用できますので、気軽に遊びに来てください。	毎週水・木曜日 9:00~14:00	毎週月~土曜日 8:30~17:00	毎週月~金曜日 9:00~16:00	毎週月~土曜日 8:30~17:00

※詳細は、直接各支援センター・児童館にお問い合わせください。

【募集点数】1点。※応募多数の場合は、応募内容により選考します。
【作品の内容】東日本放送の主催で開催されている「みやぎふるさとM大賞」。今年は広く市民の皆さんからの作品を募集します。多数のご応募をお待ちしています。

【募集期間】1月~3月。※応募多数の場合は、応募内容により選考します。

【作品の内訳】観光、物産、伝統、人物、歴史、自然など、登米市の自慢や魅力を表現した未発表の作品

【募集条件】東日本放送の主催で開催されている「みやぎふるさとM大賞」。今年は広く市民の皆さんからの作品を募集します。多数のご応募をお待ちしています。

【応募期限】作品は、9月15日(金)までに総務部市長公室広報広聴係へ提出してください。

【制作費など】制作、編集、加工の様式に記入の上、直接または電子メールでご連絡ください。

【申し込み・問い合わせ】総務部市長公室(広報広聴係) ☎ 0220(22)2090
✉ koho@city.tome.miyagi.jp

Information
07

あなたのCM作品をテレビで放映





豊里

鳴子でそり遊びとスキー教室

ときめきキッズクラブ第3回学習会「そり遊び・スキー教室」は2月18日、大崎市鳴子町のオニコウベスキー場で開かれ、44人のクラブ員が、そり遊びとスキーを楽しみました。

スキーは、指導員から一人一人丁寧に指導を受けました。そり遊びではみんなで競争したり、そりをつなげて滑り降りたり。ゲレンデに旗を立て、全員でスノーフラッグをするなど、雪山ならではの遊びを楽しんだ1日でした。

「火の用心」火災防止呼びかけ

平成29年春季登米市火災予防運動は3月1日から始まり、登米市消防団米山支団（比毛耕太郎支団長）と登米市米山支部婦人防火クラブ（畠山ひろみ会長）が街頭広報活動を実施しました。

二つの団体は、合併以前から春と秋の火災予防運動期間中、登米市役所米山総合支所前の県道など、町内3カ所で広報活動を実施。火の用心と書かれたのぼりを手に、火災防止の注意を喚起しました。



米山

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



踊りや餅つきで交流を深める

佐沼地区コミュニティ推進協議会（千葉成幸会長）主催の「佐沼地区コミュニティ祭り」は2月26日、迫公民館を主会場に開かれ、子どもからお年寄りまで約800人が踊りや餅つきで交流を深めました。

祭りでは、各町内会の芸能発表のほか、作品展示・工作体験などが行われたほか、お昼には公民館玄関前で餅つきも。つきたての餅とはっと汁が来場者に振る舞われました。充実した内容に、来場者は楽しい時間を過ごしました。



石越

青少年の健全育成に理解深め

青少年のための登米市民会議石越支部と石越町子ども会育成協議会の「合同会員研修会」は2月4日、石越公民館で開かれ、団体関係者や子育て世代の母親など、地区住民約40人が青少年の健全育成に理解を深めました。

講師は、まなびのたねネットワーク代表理事の伊勢みゆき氏。幼少時に自己肯定感を高めることの重要性、親や大人の関わり方などについて話しました。参加者は子どもと接する上で大事なことについて、真剣に耳を傾けていました。



登米

空高く舞い上がり手作りだこ

「第54回とよま凧あげ大会」（青少年のための登米市民会議登米支部主催）は2月5日、北上川右岸堤防で開かれ、大勢の市民がたこ揚げで触れ合いました。

凧あげ大会は、手作りだこを通して、市民相互の親睦を図ることと、親子の触れ合いを深めることを目的に毎年開かれています。同日は穏やかな天気で、風のないあいにくの状況でしたが、参加者は悪戦苦闘しながらも、大空にたこを舞い上げました。



東和

銀世界で大いに遊び交流深め

「雪山であそぼう！」（青少年のためのあそびの探検隊などが主催）は2月4、5の両日、栗原市花山の国立花山青少年自然の家で開かれ、市内外から34人の小学生などが参加しました。

同日は、暖冬の影響で雪不足が心配されましたが、前日の降雪により、一面銀世界に。子どもたちは、雪山での危険予知トレーニングやブルーシートスライダーなどで交流を深めました。



津山

福を願い横山不動尊で豆まき

横山不動尊の「節分豆まき」は1月29日、横山不動尊境内で開かれ、多くの老若男女が豆袋を拾いました。

かみしも姿の関係者が、太鼓の音と「福は内、鬼は外」の元気な掛け声に合わせて、ご祈祷した豆袋をまとと、訪れた人々は歓声を上げながら多くの福を呼び込もうと豆袋を拾っていました。まかれた豆袋には当たり付きの「福豆」が入っていて、拾った人には福札や福飴などの縁起物が贈られました。

地域活動、30年の節目迎え

「上沼コミュニティ運営協議会設立30周年記念式典」は2月18日、上沼ふれあいセンターで開かれました。

同式典では、協議会設立以来長きにわたり、協議会活動や地域の振興・発展・安全に貢献した5人、1団体に表彰状と記念品を贈呈。「30年のあゆみ」と題した、設立当初からの活動をまとめた映像が披露され、出席者は30年の歴史を振り返りました。記念公演では、ほうねん座が演舞「祝いの舞」を披露し、式典に花を添えました。



中田



Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication

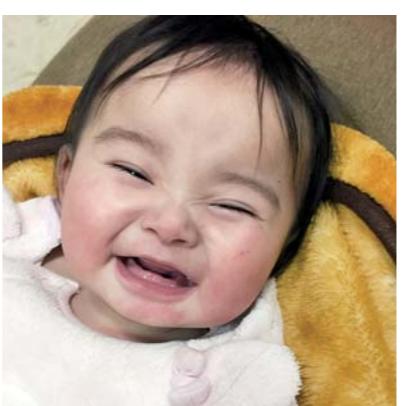
加藤 ほのかさん

かとう・ほのか 米山中2年
米山町・大又

頂点を目指して

私が今、最も力を注いでいるのは柔道です。目標は県中総体を制し、全国大会で優勝することです。小学1年で始めた当初は、全く勝つことができず、痛くてつらい思いばかりしていたので、柔道が嫌いでした。しかし、熱心に指導してくださいました先生や両親のサポート、一緒に練習する仲間など、環境に恵まれていた私は、徐々に勝てるようになり、今では一番熱中できるものとなりました。

柔道を通して、強くなるために学んだことがあります。それは、自分の弱さを認めることです。何が足りなくて、何が悪いのかを考えた上で、積極的にきつい練習に取り組み、自分を追い込むことが大事だと思います。これからも自分に厳しく挑み続け、いずれは世界に通用する選手になって、オリンピックに出場します。



上野 瑠姫ちゃん(11ヶ月)

2016年4月12日生まれ

迫町・茂栗
智浩さんの長女



Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication

いつも笑わせてくれて、幸せをありがとうございます。かわいがってくれる全ての人へ感謝です(*^*)。

いつも笑顔で元気な瑠姫。足をばたばたさせて喜んだり、話しかけるとにこにこしたりしてくれます。これからも、にこにこして、すくすく大きくなっています。

中山 紫月ちゃん(1)・夢晶ちゃん(3)

紫月ちゃん:2015年12月26日生まれ

夢晶ちゃん:2013年5月1日生まれ

津山町・横山8区 裕太さんの次女・三女

Young

まちの若い衆

Monthly Hot Communication

松野 友佳里さん

まつの・ゆかり 30歳
津山町・入沢

★身長と血液型 158cmでA型です。

★現在は 仙台の大学を卒業した後、市内の子育て支援センターに勤務しています。乳幼児から、小学生まで幅広く子どもたちに関わっています。毎日、子どもたちのさまざまな表情が見られるので楽しいです。

★自分の性格 おとなしそうと言われますが、明るくにぎやかです(笑)。

★趣味は お菓子や小物を作ることです。お菓子は、和菓子、洋菓子どちらもいけます。特に、デコレーションなどの細かい作業が好きですね。

★理想の男性像 特にこういう人というのではありません。強いて言うなら、お互いの意思を尊重できる人。

★休日は 友達と遊んだり、買い物に出掛けたりすることが多いですね。家業が農業なので、これから季節は畑や田んぼで農作業することが増えますね(笑)。

★今やってみたいこと 体を動かすのが好きなので、まずはスポーツですね。それと旅行に行きたいです。国内がいいかな。目標は日本一周です。それと、自分にできそうなことは、ジャンルを問わずに何でも挑戦してみたいですね。

★登米市について一言 自然が多いので、もっといろいろと整備されて、多くの人が訪れ、より過ごしやすいところになってほしいです。



～「わが家のアイドル」を募集～

3歳までの子どもたちを募集しています。ご家族の記念にいかがでしょうか。投稿お待ちしています。
<応募方法>①氏名(ふりがな)・性別②住所③行政区④生年月日⑤電話番号⑥掲載する保護者の氏名⑦コメント(50字程度)⑧写真データを添付し応募してください。登米市電子申請サービスから応募することもできます。

<応募先>総務部市長公室広報広聴係 〒987-0511 迫町佐沼字中江二丁目6番地1

Eメール:koho@city.tome.miyagi.jp

電子申請:https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi/uketsuke/dform.do?acs=212IdolMyHome

電子申請 QR コード





佐々木 賢三さん(82)
さかえさん(80)

米山町・新町
1958(昭和33)年12月入籍

いつつも一緒に仲良くなるね

★結婚のきっかけは

【賢三】おらだち夫婦は、はとこ同士でね。お互いに顔は知つてだんだん。でも話をした記憶はねがつたな。

【さかえ】初めて話をしたのは、お振る舞いのときだよ(笑)。

★結婚当時の思い出は

【賢三】親父が戦死したがらさ、行政区や親戚の寄り合いさしょっちゅう出掛けでだね。まだ若かったがら、いづがつたねえ。

【さかえ】高校卒業して、習い事の学校に2年通つた後に結婚。ご飯炊き覚える前に嫁いだの。んがら佐々木家で料理を覚えだべば(笑)。

★当時の楽しみは

【賢三】乗り物が好きでさ。当時はメグロのバイクで、お母さん乗せで「田めぐり」したね。車を買ってがらは、そっちこっちさ行つたなあ。

【さかえ】トラック買つたどぎ、近所の人たち石巻さ、潮干狩りさ行つたよね。荷台さ乗つてだがら、着いだときにはみんな土で真つ黒(笑)。

★現在の楽しみは

【2人】2人でドライブだな。たまに遠出して、秋田や青森さも行くよ。

【夫婦円満のコツは

【2人】一緒にいるど、自然と仲良くなるもんだね。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「自然豊かな『豊里』 思い出は尽きず」

昔、迫川の中流に「にしまえ橋」があり、そのそばで育ちました。小さいときは、空気も水もきれいでした。今は、昔とだいぶ変わったと思います。

春はメダカ、ふなっこ、ジャリガニなどを取つて遊ぶ。夏

は、夕飯を終えた近所の人たちで、夕涼みをしながらホタルの乱舞を見るのが風物でした。夏休みは、毎日迫川で泳ぐのが日課で、真っ黒に日焼けしていましたね。

冬は、沼や川でスケート遊び。「下駄スケート」から始まり、次は長靴に金属をベルトで縛る「金スケート」。その後、何年かたつてスケート靴になりましたね。

田植えが終わつた頃の雨上がりの篠岳山。とても美しく雄大な山だと子ども心に思いました。今見ると、当時の印象と違いますね。田舎に帰つた時には、いつも篠岳山を眺めています。今となつてはよい思い出です。

田植えが終わつた頃の雨上がりの篠岳山。とても美しく雄大な山だと子ども心に思いました。今見ると、当時の印象と違いますね。田舎に帰つた時には、いつも篠岳山を眺めています。今となつてはよい思い出です。

佐藤博さん(70)

東京豊里会会計
豊里町(二ツ屋区)出身



佐藤博さん(70)
東京豊里会会計
豊里町(二ツ屋区)出身

私は中学卒業後、東京の羽田空港近くの工場に集団就職しました。そんなわけで、登米市内の町名は分かりますが、位置関係はうろ覚えです。現在、食品卸業を営んでおり、もう少し働くつもりです。一线を退いたらゆつくり帰省し、市全体を見て歩くことを今から楽しみにしています。

私は中学卒業後、東京の羽田空港近くの工場に集団就職しました。そんなわけで、登米市内の町名は分かりますが、位置関係はうろ覚えです。現

在、食品卸業を営んでおり、もう少し働くつもりです。一线を退いたらゆつくり帰省し、市全体を見て歩くことを今から楽しみにしています。



さわやかな甘さが売りの「もういっこ」。宮城県のオリジナル品種です。

おらほの道の駅

道の駅米山 「ふる里センターY・Y」



10万本の「チューリップまつり」

今月は道の駅米山「ふる里センターY・Y」の渡辺芳江さんに話を伺いました。

Q 防ざしも暖かくなり、春が訪れました。この季節、道の駅米山で開催するイベントなどを教えてください

毎年恒例の「米山チューリップまつり」を4月23日から5月7日まで、道の駅米山西隣の圃場で開催します。

1haの敷地に、60種類、約10万本のチューリップが皆さんをお待ちしています。赤、白、黄色、ピンクなど、色鮮やかなチューリップが咲き乱れ、例年多くの見物客でにぎわいます。毎年のチューリップが皆さまをお待ちしています。

冬枯れの庭に赤い実南天は寒空の下明るくいたり収穫も終りしあとに母は逝き淋しさまして一人佇む冬はだて」日向に集つ姫らは農産物やチューリップの球根などを販売(1株200円、3株500円)。雨天の場合、販売中止もあります。入場料は無料ですので、皆さんぜひご来場ください。

Q チューリップまつり、楽しめですね。この時期の一一番気の商品を教えてください

この季節は、米山名物の「イチゴ」が大人気ですね。当道の駅では、大粒でさわやかな甘さが売りの「もういっこ」をメインに置いています。お立ち寄りの際は、ぜひご購入ください。

【問い合わせ】道の駅米山「ふる里センターY・Y」
0220(55)2747

短歌

まちの文芸

作品募集!

●5月号は俳句・川柳です。住所・氏名・電話番号を記入し、3月27日(月)までご応募ください。作品には全て、ふりがなを振ってください。応募者多数の場合選考して掲載します。

カラフルな甘い宝石金平糖
ほと手の平にのせ心なごめり
今日一歩明日又二歩と前に行く
曾孫行け行け宇宙まで
ひと滴はぐれ白鳥泣きぬれて
どこへ行くやら母親いづこ
年とりて寒さ骨身に強くしみ
ひと滴はぐれ白鳥泣きぬれて
身を縮ませて炬燵でひと日
ふんばつて曾孫を見るまで生きたいと
三年連記の日記購ふ

三浦 智恵
佐々木三次
(登米)
沼倉いね子
(中田)

小野寺典子
(中田)

春を待つ詩く豆もなし我が家では
遠き日に姉と訪ねし齋利離
朝のテレビに会えてなつかし
福も一服鬼も一服

佐々木康子
(米山)
渡辺よしえ
(米山)
水野トヨ子
(米山)
折井由紀子
(米山)
三上久美子
(南方)

応募総数23作品

りました。
うち9人家族で、私は四男。幼い頃は、両親が朝早くから家へ帰り、夏でも冬でも日が落ちてからでした。両親がいない分、兄弟で家庭の仕事を分担していました。私の担当は風呂の当番。井戸からバケツに水をくんで、五右衛門風呂まで何度も往復しました。子どもの遊び場の分校が、自宅の隣でした。日々遊びに夢中になり、仕事を思い出しました。今となつてはよい思い出です。

ら野良仕事に出かけている間、帰りは夏でも冬でも日が落ちてからでした。両親がいた。小さいときは、空気も水もきれいでいた。今は、昔とだいぶ変わったと思います。

春はメダカ、ふなっこ、ジャリガニなどを取つて遊ぶ。夏は、夕涼みをしながらホタルの乱舞を見るのが風物でした。夏休みは、毎日迫川で泳ぐのが日課で、真っ黒に日焼けしていましたね。

冬は沼や川でスケート遊び。「下駄スケート」から始まり、次は長靴に金属をベルトで縛る「金スケート」。その後、何年かたつてスケート靴になりましたね。

田植えが終わつた頃の雨上がりの篠岳山。とても美しく雄大な山だと子ども心に思いました。今見ると、当時の印象と違いますね。田舎に帰つた時には、いつも篠岳山を眺めています。今となつてはよい思い出です。

田植えが終わつた頃の雨上がりの篠岳山。とても美しく雄大な山だと子ども心に思いました。今見ると、当時の印象と違いますね。田舎に帰つた時には、いつも篠岳山を眺めています。今となつてはよい思い出です。

ぼくわたしむし歯ないんだよ

Monthly Hot Communication

2月23日までの3歳6ヶ月健診でむし歯のなかつた子どもたち



いつまでもお元気で

おめでとうございます
祝100歳



佐藤 イツヨさん
(中田町・沼畑)
大正6年2月14日生まれ

健康の秘訣は「裸足でいること」。冬でも外に出る時以外、靴下は履かない。夫婦で農業を始めた。3男3女の6人の子どもを育てあげました。

「もつと長生きして、孫の英明さんは、い」と話していました。

イツヨさんは中田町出身で、20歳のとき四郎さんと結婚しました。夫婦で農業を始めた。3男3女の6人の子どもを育てあげました。

出の時以外、靴下は履きません。体を動かすことが好きで、庭の草取りや一輪車でごみ集めをしていました。



渡邊 みやとさん
(津山町・柳風園)
大正6年2月13日生まれ

4月のおすすめ図書を紹介

Monthly Hot Communication

今月は中田図書室です

一般向け

子ども向け

PICKUP-04 「不屈の日本人」



関 厚夫/著

岡本太郎が感嘆した蝦夷・北の風土などを広範囲に描く。戦中に「帝王・カラヤン」を地下室にかくまた田中路子など、被災地・東北の歴史と人物を掘り起こし、その反骨の源流を探る。

PICKUP-05 「手づくり健康酢バイブル」



金丸 絵里加/著

玉ねぎ、ショウガ、キャベツなどの身近な野菜で作る健康酢から、にんにく、大豆などの栄養食材で作るもの、さらにはチアシードなど、話題の食材で作ったものまで、27種類の健康酢を紹介。

PICKUP-06 「錯迷」



堂場 瞬一/著

異例の昇格人事で、鎌倉南署長に赴任した萩原哲郎。その裏に事情があった。それは女性前署長の不審死の謎を解くこと。秘密捜査を進めるうちに、過去の未決殺人事件が浮上してくる。

PICKUP-01 「お金のヒミツなぞとき図鑑」



泉 美智子/監修

子どもたちが「知りたい」と思う知的好奇心に応え「お金は、だれがどこでつくっているの」「値段は、どうやって決まるの」。さまざまな視点から、お金を見たり、考えたりします。

PICKUP-02 「13階建てのツリーhaus」



アンディ・グリフィー/著

ハチャメチャな2人組、アンディとテリー。2人の口めがけてマシュマロを飛ばしてくるマシュマロ・マシン、人食いザメだけの水槽。ありえないことが次々と起るツリーhausのお話。

PICKUP-03 「おとうさんは、いま」



湯本 香樹実/文
ささめやゆき/絵

お父さんが絵本を読んでくれると約束した日、帰りが遅くなると電話がありました。おとうさんが今どこにいるのか、まゆちゃんの想像はふくらんでいきます。

続々新刊が入荷。詳しくは市ホームページで

● Library Topics

みんなの図書館

利用者の声や図書館のイベントなどをお知らせします

利用登録は3館(室)共通です

市図書館(室)で本を借りるには、利用者登録が必要です。

市内にお住まい、または在勤、在学していれば、どなたでも利用できます。利用者登録の際には、免許証など本人確認ができるものをご持参ください。1度登録いただくと、市内全ての図書館(室)で本を借りられます。

<貸し出し冊数と期間>

貸し出し冊数: 1人、各館5冊まで

貸し出し期間: 貸し出しの翌日から14日間

※個人以外に、団体にも貸し出していますの

利用者登録は、簡単な申請書への記入と本人確認證明があれば、5分程度で済みます。登録後に、全館(室)共通のカードをお渡しします。

で、詳しくは各図書館(室)へ気軽にお問い合わせください。

■開館時間 午前9時~午後5時

■休館日 毎週月曜、祝日、年末年始など

(中田図書室は祝日も開室)

※その他、館内整理など不定期での休館もありますのでお問い合わせください

■問い合わせ 追図書館 ☎ 22-9820

登米図書館 ☎ 52-5330

中田図書室 ☎ 34-8081

Books

Health

Young

Dream

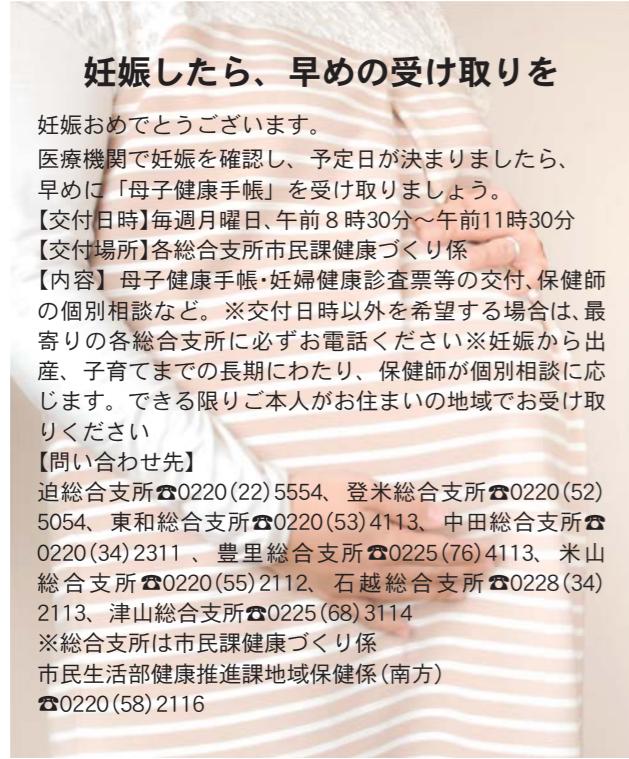
Child

Half Century

One's Home

【応募できる人】
80歳以上で、自分の歯(治療)
平成29年6月4日現在、満
80歳以上で、自分の歯(治療)

- ①応募できる人
- ②応募期限 4月12日(水)
- ③申し込み・問い合わせ 市民生活部健康推進課
- ④0220(58)2116
- ⑤各総合支所市民課(健康づくり係)
- ⑥連絡があります。
- ⑦県歯科医師会から口腔診査の結果があります。
- ⑧平成28年4月1日から平成29年3月31日までの間に3歳児健康診査を受け、むし歯がなかった本人と、お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん。
- ⑨お母さんとのどちらか。
- ⑩完了)が20本以上ある健常な人。
- ⑪がん患者さんやその家族などが気楽に集まり、お茶や会話を楽しみながら、生活の工夫などを語り合える場を開いています。
- ⑫情報交換や交流を通じて悩みや不安を解消し、明るく前向きに自分らしく暮らせる機会にしてみませんか。
- ⑬夫などを語り合える場を開いています。
- ⑭がん患者さんやその家族などが気楽に集まり、お茶や会話を楽しみながら、生活の工夫などを語り合える場を開いています。
- ⑮「歯の健康は家庭での健やかな生活习惯から」80歳になつても自分の歯を20本以上保とうと健康寿命の延伸は「の健康」を合言葉に、県と県歯科医師会では「歯づらつ」を実施します。
- ⑯4月の休日当番医
- ⑰4月の献血日程
- ⑱登米いのちホットテレホン
- ⑲こども夜間安心コール
- ⑳休日・夜間診療案内



妊娠したら、早めの受け取りを

妊娠おめでとうございます。医療機関で妊娠を確認し、予定日が決まりましたら、早めに「母子健康手帳」を受け取りましょう。

【交付日時】毎週月曜日、午前8時30分～午前11時30分

【交付場所】各総合支所市民課健康づくり係

【内容】母子健康手帳・妊娠健康診査票等の交付、保健師の個別相談など。※交付日時以外を希望する場合は、最寄りの各総合支所に必ずお電話ください※妊娠から出産、子育てまでの長期にわたり、保健師が個別相談に応じます。できる限りご本人がお住まいの地域でお受け取りください

【問い合わせ先】追総合支所 0220(22)5554、登米総合支所 0220(52)5054、東和総合支所 0220(53)4113、中田総合支所 0220(34)2311、豊里総合支所 0225(76)4113、米山総合支所 0220(55)2112、石越総合支所 0228(34)2113、津山総合支所 0225(68)3114

※総合支所は市民課健康づくり係
市民生活部健康推進課地域保健係(南方)
0220(58)2116



石巻市夜間急患センター診療時間

	内科	外科	小児科
月			
火			
水			
木			
金			
土			
日			
祝日			
18:00～翌朝7:00		19:00～22:00	18:00～翌朝7:00
18:00～翌朝6:00 (翌日が祝日の場合は翌朝7:00)			



児健康診査を受け、むし歯がなかつた本人と、お父さんまたお母さんのどちらか。

【応募方法】官製はがき(ファクシミリ可)に住所、氏名(フリガナ)、生年月日、年齢、電話番号、かかりつけ歯科医院、または最寄りの歯科医院を記入し、下記まで応募してください。

【応募期限】4月14日(金)

【申し込み・問い合わせ】

②ファミリーの部

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの間に3歳児健康診査を受け、むし歯がなかつた本人と、お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん。

【応募方法】官製はがき(ファクシミリ可)に住所、氏名(フリガナ)、生年月日、年齢、電話番号、かかりつけ歯科医院、または最寄りの歯科医院を記入し、下記まで応募してください。

【応募期限】4月14日(金)

【申し込み・問い合わせ】

③市役所

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの間に3歳児健康診査を受け、むし歯がなかつた本人と、お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん。

【応募方法】官製はがき(ファクシミリ可)に住所、氏名(フリガナ)、生年月日、年齢、電話番号、かかりつけ歯科医院、または最寄りの歯科医院を記入し、下記まで応募してください。

【応募期限】4月14日(金)

【申し込み・問い合わせ】

④市役所

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの間に3歳児健康診査を受け、むし歯がなかつた本人と、お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん。

【応募方法】官製はがき(ファクシミリ可)に住所、氏名(フリガナ)、生年月日、年齢、電話番号、かかりつけ歯科医院、または最寄りの歯科医院を記入し、下記まで応募してください。

【応募期限】4月14日(金)

【申し込み・問い合わせ】

⑤市役所

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの間に3歳児健康診査を受け、むし歯がなかつた本人と、お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん。

4月の休日当番医

日	場所・受付時間・担当	歯科休日当番医
2日	よねやま診療所(米山町) 0220(55)2011	フジ歯科クリニック(迫町) 0220(22)7751
9日	八嶋中央診療所(石越町) 0228(34)2013	さくら歯科医院(迫町) 0220(22)2210
16日	米川診療所(東和町) 0220(45)2301	はら歯科医院(米山町) 0220(55)3313
23日	佐藤内科医院(迫町) 0220(22)2160	中江歯科クリニック(迫町) 0220(22)7767
29日	わたなべ内科クリニック(迫町) 0220(21)5335	まつお歯科医院(迫町) 0220(28)2311
30日	三浦消化器内科(中田町) 0220(34)3611	東和歯科医院(東和町) 0220(53)3811

●診療時間 9:00～17:00

【休日急患当番医】

- 休日・夜間診療案内 0229(24)2267(24時間)
- 第2次診療 登米市民病院 0220(22)5511
- 【問い合わせ】登米市医師会 0220(22)2084

※月～金曜日(休日を除く)

【歯科休日当番医】

【問い合わせ】

- 市民生活部健康推進課
0220(58)2116

4月の献血日程

- 1日(土)、9日(日)、16日(日)
- ▶イオンタウン佐沼
10:00～11:45
13:00～16:30

※日程は変更になる場合があります。
最新的日程については、市ホームページをご覧くださいか、下記にお問い合わせください。

- 【問い合わせ】
市民生活部健康推進課
0220(58)2116

**登米いのち
ホッとテレホン**
はなうそとめ
0120(870)108
(登米市民専用)

登米いのちホットテレホンは…
○24時間いつでもかけられます。
○名前を名乗る必要はありません。
○電話相談員は、2年間の研修を終了し、認定された人たちです。
○固定電話のほか、携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

こども夜間安心コール

- 電話番号 #8000
(プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)
022(212)9390
(プッシュ回線以外の固定電話、PHSから)
- 相談時間 每日午後7時～翌朝午前8時

休日・夜間診療案内

休日・夜間診療案内は下記の番号です(24時間対応)
0229(24)2267

時間 内の入室や退室は自由です
ので、お気軽にご参加ください。

【会場】追にぎわいセンター
平成29年4月8日(土) / ふれあいコンサート、6月12日(月)、7月10日(月)、8月14日(月)、9月11日(月)

【開催日】平成29年4月13日(木)、5月11日(木)、6月8日(木)、7月13日(木)、8月10日(木)、9月14日(木)

【時間】午後1時30分(2時間程度)

【参加費】千円(型紙代など)

【問い合わせ】登米市民病院 地域医療連携室

【開催日】平成29年4月13日(木)、5月11日(木)、6月8日(木)、7月13日(木)、8月10日(木)、9月14日(木)

【時間】午後1時30分～3時

【参加費】100円(お茶代)

【問い合わせ】ホットサロン とめ(鈴木)

【開催日】平成29年4月8日(土)

【会場】追にぎわいセンター

【開催日】平成29年4月8日(土) / ふれあいコンサート、6月12日(月)、7月10日(月)、8月14日(月)、9月11日(月)

To Me

市営住宅・定住促進住宅入居者を募集	
募集する住宅	
市営住宅	中田本町住宅10号(平成6年) (中田町石森字本町73番地) ▶募集戸数=1戸(2DK)/家賃月額=1万8500円 ~2万7500円/駐車場利用は1台まで
	米山今泉住宅2~14号(平成17年) (米山町字桜岡今泉39番地2) ▶募集戸数=1戸(2DK)/家賃月額=1万9700円 ~2万9400円/駐車場利用は1台まで
定住促進住宅	石越定住促進住宅1号棟301号(3階)、2号棟205号(2階)、2号棟303号(3階) (石越町南郷字館前176番地1) ▶募集戸数=3戸(3DK)/家賃月額=3万500円 /駐車場利用は1台まで
	石越定住促進住宅2号棟505号(5階) (石越町南郷字館前176番地1) ▶募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額=2万5900円 /駐車場利用は1台まで
豊里定住促進住宅	豊里定住促進住宅1号棟405号(4階)、2号棟404号(4階) (豊里町小口前185番地4) ▶募集戸数=2戸(3DK)/家賃月額=2万7500円 /駐車場利用は1台まで
	豊里定住促進住宅2号棟503号(5階) (豊里町小口前185番地4) ▶募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額=2万5900円 /駐車場利用は1台まで

【入居資格】住宅に困っている世帯。※市営住宅は低所得世帯であること、定住促進住宅は一定以上の所得があることなどの入居要件があります。詳しくは住宅都市整備課へお問い合わせください。駐車場の契約がある場合は別途1台2千円かかります。
【申込期限】平成29年4月5日(水)※期限厳守
【申し込み先】各総合支所市民課または建設部住宅都市整備課(市役所中田庁舎2階)※郵送不可
【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅整備係)
 ☎ 0220(34)2316

【訓練内容】パソコンを活用
【離職者等再就職訓練】
総合ビジネス科募集

▼労働基準監督B(理工系)II
約40人
【期間】5~10月/開講式は4月25日(火)
【昼の部】毎週火曜日午前9時~午後2時/初回は5月9日(火)
【夜の部】毎週水曜日・土曜日午後7時30分から午後9時30分/第1回は5月10日(水)

【付期間】3月31日(金)~4月12日(水)(受信有効)
【インターネット申し込み専用アドレス】http://www.jinji-shiken.go.jp/jukken.html
 ※インターネットでの申し込みのみ

【第1次試験日】6月11日(日)
【問い合わせ】宮城労働局総務部総務課(人事係)
 ☎ 022(299)8833

【期間】5~10月/開講式は4月25日(火)
【昼の部】毎週火曜日午前9時~午後2時/初回は5月9日(火)
【夜の部】毎週水曜日・土曜日午後7時30分から午後9時30分/第1回は5月10日(水)

【付期間】3月31日(金)~4月12日(水)(受信有効)
【昼の部】毎週火曜日午前9時~午後2時/初回は5月9日(火)
【夜の部】毎週水曜日・土曜日午後7時30分から午後9時30分/第1回は5月10日(水)

【初心者も歓迎陶芸教室受講者を募集】
【期間】5~10月/開講式は4月25日(火)
【昼の部】毎週火曜日午前9時~午後2時/初回は5月9日(火)
【夜の部】毎週水曜日・土曜日午後7時30分から午後9時30分/第1回は5月10日(水)

【初心者も歓迎陶芸教室受講者を募集】
【期間】5~10月/開講式は4月25日(火)
【昼の部】毎週火曜日午前9時~午後2時/初回は5月9日(火)
【夜の部】毎週水曜日・土曜日午後7時30分から午後9時30分/第1回は5月10日(水)

【JICAボランティア】
2017年度春の募集
【場所】東和町陶芸場
【年会費】7千円(材料費含む)
【申し込み期限】4月7日(金)
【教育事務所】
 ☎ 0220(53)4114
【申し込み・問い合わせ】東和

※初心者は夜の部の場合、水曜日の受講になります

【体験談&説明会】事業概要説明や体験談発表、応募相談などを実施します。予約不要、入場無料です(入退場自由)

【説明会日程】4月6日(木)
 午後7時~午後9時/AER
 (アエル)6階「ネ!ツトUセ」北、4月22日(土)午後6時30分~午後8時30分/仙台第一生命タワービル20階JICA東北

どの詳しい内容は、人事院ホームページまたは左記にお問い合わせください

【問い合わせ】人事院東北事務局第一課(試験係)
 ☎ 022(221)2022
【問い合わせ】人事院東北事務局第一課(試験係)
 ☎ 022(223)4772
【問い合わせ】jicathic-jv@jica.go.jp
<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>

DAIYU HOME CENTER ダイユーエイト 登米中田店
毎月8のつく日はハッピーデー
 8日 18日 28日
 税込3,240円以上お買上げで
5倍
ポイント
季節の花苗・野菜苗 大量入荷しました

【面接選考】5月18日(木)
【選考場所】県立石巻高等技術専門校
【費用】授業料は無料、テキスト代として2万6千円程度

【問い合わせ】県立石巻高等技術専門校
 ☎ 022(299)8833

確かな技術でまかせて安心
電気工事・オール電化工事・電気通信工事
 太陽光発電設備工事・IH・エコキュート・消防設備工事・点検
有限会社 五島電機
 登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて
KUMANEN
 快適生活創造企業
災害時安定供給施設
アカシヨウヅクP KUMANEN
コインランドリー 清潔空間
BFCクマネン
なごみの家 きらり
 〒987-0511 宮城県登米市迫田佐沼字北散田120番1
TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732
<http://www.kumanen.jp> E-mail:info@kumanen.jp

ときめき人

Tokimeki bito



豊かな感性で 「自分のイメージ」 写し出す

登米総合産業高写真部

千坂大輔顧問、阿部晶子顧問、平果奈子部長、部員14人。写真左から、
平果奈子さん(3年)、菅原龍輝さん(2年)、千葉瑠茄さん(2年)

エプソン賞を受賞した作品
「群集」



写真右上、右下、菅原龍輝さん撮影
写真左、千葉瑠茄さん撮影



「伸びびしない『いつも通り』の撮影が結果につながったと思います。自分たちの作品が認められてうれしい」と笑顔を見せる3人。

「TopEye 全国高校生写真サミット2017」は2月3から5日まで、横浜市で開かれ、登米総合産業高写真部が「エプソン賞」を受賞した。同サミットは、中高生を対象に発行している写真部応援マガジン「TopEye」で実施されている「フォトフォトサロン」コンテストの上位校が参加。

サミットへの参加は1校3人。同コンテスト入賞作品を撮影した平部長は確定。残り2人を、千坂顧問、阿部顧問と平部長の3人で話し合った結果、菅原さんと千葉さんが選ばれた。「部員全員頑張っていますが、2人は感性も豊かで特に努力してい

ます」と千坂顧問。

サミットでの共通テーマは「キズナ。横浜」。「初めての経験で緊張すると思いましたが、部長のリードでいつも通り楽しんで撮影できました」と菅原さんと千葉さん。2日間で撮影した約800枚の中から、菅原さんのものを2枚、千葉さんのものを1枚選んだ。平部長は「よいものを3点を選びました」と自分の作品にこだわらない。その結果が受賞につながった。

今回の受賞が「自信になった」というものの、「写真で一番楽しいのは、イメージ通りのものが撮れたとき」と語る3人。3人と一緒に、部員全員が「一番楽しい」瞬間を求めて、今日もどこかでシャッターを切っている。

編集後記

▼早いもので、また1年が過ぎようとしている。周りを見る余裕もなく、ただ走ってきた気がする。後ろ向きは嫌だが、振り返りは大切。振り返れば、多くの人に支えられての1年だった。ここ2、3ヶ月は特に感じている。新年度は立場を逆に、支える人間になりたい。(及川)

▼原稿締め切り直前に、まさかのインフルエンザにかかり、周囲の皆さんに大変迷惑をかけてしまいまして。いつもながら、サポートしていただく皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、新年度は計画的に仕事をしていきたいと思います。(千葉)

▼3、4月は卒業や入学、転勤などさまざまな別れと出会いがある時期です。私たちは取材でたくさんのお会いがあります。その出会いは偶然ではなく必然ではないでしょうか。「一度切れりかもしれない」と胸に刻み、今後も仕事に取り組んでいきたいと思います。(田代)



モバイルとめ
(携帯電話版ホームページ)
<http://www.city.tome.miagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)
<http://tomecity.mail-dpt.jp/>